

## 2. 麦

・殺菌剤（参考農薬）

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
3	シルバキュアフロアブル	無人航空機による散布	収穫 14 日前まで	2 回以内	大麦
			収穫 7 日前まで		小麦
1	トップジンMゾル	無人航空機による散布	収穫 21 日前まで	3 回以内 (但し、出穂期以降は 1 回以内)	麦類(小麦を除く)
		無人航空機による散布	収穫 14 日前まで	3 回以内 (但し、出穂期以降は 2 回以内)	小麦

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

対象病害虫	防除期間	防 除 方 法	注 意 事 項
赤かび病	開花期	[参考農薬] 1. トップジンMゾルの 8 倍液、又はシルバキュアフロアブルの 16 倍液を 10a 当り 800ml 散布する。	1. 開花期以降に曇雨天が続くと多発する。 2. 散布時期は最も感染しやすい開花期とし、多発が予想される場合は 10～14 日後を目処に追加散布する。 3. 薬剤耐性菌の出現を回避するため、同一薬剤の連用を避け、他剤との輪用を図る。
赤さび病	開花期	[参考農薬] 1. シルバキュアフロアブルの 16 倍液を 10a 当り 800ml 散布する。	